

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホープ千旦林		
○保護者評価実施期間	2025年12月5日		～ 2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年11月10日		～ 2025年11月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業所自己評価総括表作成日	2026年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者アンケート結果より、子どもが安心感を持って楽しく通所できており、保護者様も事業所に対して満足感を持っていただけています。	子どもたちが安心かつ衛生的に過ごせるように、道具やおもちゃの消毒や整理整頓を心がけています。	どうしたら楽しく過ごせるか、個人の成長につながるか、接し方やプログラムの工夫等をスタッフで日々相談しながら支援をしていきます。
2	送迎時など日ごろから保護者さんとお子さんの日々の様子やお困りごとなど話をする機会を作れるように意識しています。	子どもが楽しむだけでなく職員も一緒に楽しむ事を常に意識して勤務しています。 また、子ども一人一人の個性や好みを考慮した遊びや活動を提示するように心がけています。	安心してお子さんを預けていただけるように、こちらの接し方や関わり方について、意図を直接お伝えする機会を設けるように意識します。
3	子どもたちの自主性、主体性を伸ばせるように「したい、やりたい」という気持ちに寄り添い、できる限り実現できるようにしてあげています。	基本方針として、子どもたち一人一人の「したい、やりたい」を叶えてあげるように遊びや活動を提供しています。	おもちゃや道具、遊びや環境の整備や見直しを定期的を実施して、子どもたちの支援をするよう心がけます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員アンケート、保護者アンケートの結果より、室内での活動スペースの確保が不十分である場合がある事が課題として上がりました。	曜日によっては人数が多い日もあるため、室内での活動の場合は、スペースが十分確保できない事が要因と考えられます。 また、部屋の数が少ないため利用者数によっては使える範囲が限られてしまうことも要因と考えられます。	施設前の戶外スペースは十分にあるので、外遊びを多く取り入れ、室内に多くの児童が残らないように配慮します。 天候が悪い日は、近くの体育館の利用や児童センターの利用も取り入れていきたいと思っています。 また、事務室の一面を作業スペースとして使えるように整備したりして、施設を最大限活用していきます。
2	保護者アンケートの結果より、家族支援プログラムや家族も参加できる研修会や父母会などの機会が少ないことが課題として上がりました。	他事業所と合同での家族同伴のリング狩りや、運動会見学への参加等の案内をしていましたが、保護者の方が参加できる行事が少ないこと、こちらからの周知が不十分であったことが要因と考えられます。	児童の利用日でない日に特別な行事が予定された場合には、個別に連絡をするなど広く参加を呼び掛けていきます。 保護者様の参加できる曜日、時間を考慮し「お茶会」「座談会」を開き、保護者様が気軽に悩み事を話せる場を提供することを考えていきます。
3	保護者アンケートの結果より、災害時、緊急時の対応マニュアルや訓練などについて、保護者様に周知が不十分な事が課題であると考えられます。	年間に行っている訓練の報告も連絡帳に記載するのみであったり、訓練を行った日に利用されていない児童や保護者様へは訓練の内容や緊急時の対応等の周知が不十分であった可能性があると考えられます。	避難訓練を行った後に保護者様宛の訓練実施の簡易な報告書やお知らせの文書を発行し、その書面に緊急時の対応を毎回記載することで、保護者様に訓練の内容、緊急時の対応等について理解をしていただけるように努めます。